

## 5. 重点テーマ

住宅部門として重点的に取り組むべきテーマを「重点テーマ」と設定し、この重点テーマの実現のために実施する施策を「重点施策」と位置づけ、効果的・効率的な施策展開を図ります。

### 重点テーマ1 高齢者や子育て世帯が安心して健康に暮らせる住環境づくり

#### 重点施策1-1 安全で快適に暮らせる住宅づくり

高齢者や子育て世帯が安全で快適に暮らせ、健康寿命の延伸につながるよう、手すり設置や段差解消などのバリアフリー改修や温熱環境の改善などの省エネ改修への支援や、地震に強い住宅づくりに向けた支援などに取り組みます。

地震に強い住宅  
づくりの実現



#### 重点施策1-2 適切な住宅への住み替え支援

高齢者や子育て世帯が世帯規模や状況に応じて適切な規模・性能を有する住宅に円滑に住み替えられるよう、関係団体と連携した住まいに関する情報の提供や、住み替えなどの際のリフォームに対する支援などに取り組みます。

円滑な住み替えの実現



#### 重点施策1-3 家族や地域とのつながりの強化

高齢者や子育て世帯が住み慣れた地域や自宅で安心して暮らせるよう、親世帯と子世帯がお互いに支え合いながら暮らせる同居・近居への支援や、高齢者や子どもを地域で支える仕組みづくりなど、家族や地域とのつながりの強化に取り組みます。



空き家を「地域の茶の間」に改修した例

### 重点テーマ2 魅力ある新潟暮らしを実現する住環境づくり

#### 重点施策2-1 適切な住宅への住み替え支援

UIJターンや市民の住み替え希望者が、自分に合った新潟暮らしを実現する住宅を円滑に確保できるよう、新潟暮らしに必要な住まいに関する情報の提供や、リフォームに対する支援、分譲マンションなどのまちなか住宅の再生支援や適正管理に対する支援などに取り組みます。

情報提供

リフォーム支援



新潟暮らし  
の実現



#### 重点施策2-2 老朽家屋への対応

UIJターンや市民の住み替え希望者に、安心して安全に暮らせる住環境を提供できるよう、空き家を含む老朽家屋による住環境の悪化を防止するため、関連部門との情報共有や地域との連携を図りながら、空き家の活用や空き家を除却した後の跡地の活用に対する支援とともに、建築物の安全性の確保に向けた対応などに取り組みます。

老朽家屋の  
適正管理



空き家の  
活用



# 6. 計画実現に向けた推進方策

本計画の実現に向けて、施策の推進体制や計画の検証・見直し方法について定めます。

## 1. 施策の推進体制

### 1-1 関連部門との連携

- 多様化、複雑化する住生活を取り巻く課題に適切に対応していくためには、住宅部門とともに、都市整備、福祉、文化・教育、環境、防災・防犯、産業など、関連する各部門との連携・協力のもとにハード・ソフトの両面で施策を展開していく必要があります。

### 1-2 市民参画と協働

- 住宅施策を展開していくにあたって、「市民」「民間事業者」「行政」の適切な役割分担のもと協働で取組を進めていく必要があります。

## 2. 計画の検証と見直し

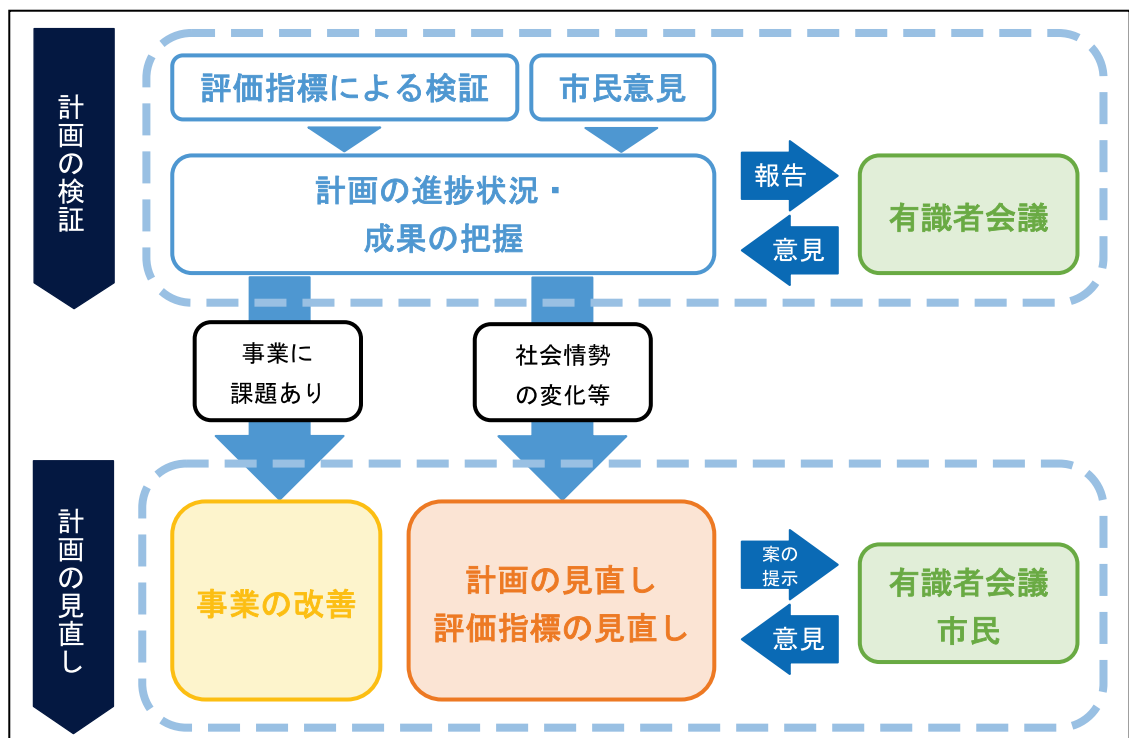
### 2-1 計画の検証

- 計画の進捗状況や成果を適切に評価するために、「評価指標による検証」「市民意見の把握」に取り組むとともに、外部委員等による有識者会議を毎年度開催し、意見を聴取します。

### 2-2 計画の見直し

- 計画の検証を踏まえ、社会情勢や市民ニーズの変化などにより、施策の方向性を見直す必要があると判断された場合、計画期間中においても計画の見直しを実施します。
- また、計画の進捗状況や目標の達成状況によって、必要に応じて評価指標の項目・目標値の見直しや、事業の改善に取り組みます。
- 計画や評価指標の見直しにあたっては、有識者会議や市民から意見を聴取します。

#### ■計画の検証・見直しフロー



## 用語解説

	語句	意味
え	液状化	砂質土がゆるく堆積してできた地盤が、地震などの振動を受けることによって液体のような泥水状態になってしまう現象のこと。液状化が起きると、砂混じりの水が地表面に噴き出したり、部分的に陥没したりして、建物や地中に埋設していた配管類に損傷を与える。
さ	最低居住面積水準	住生活基本計画（全国計画）で示された「世帯人数に応じて、健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な住宅の面積に関する水準」のこと。その面積（住戸専用面積・壁芯）は、住宅性能水準の基本的機能を満たすことを前提に、以下のとおり定められている。 (1) 単身者 25 m <sup>2</sup> (2) 2人以上の世帯 10 m <sup>2</sup> ×世帯人数+10 m <sup>2</sup>
は	バリアフリー	段差の解消、手すりの設置等により、高齢者や身体障がい者等の日常生活や行動に不便な障害・障壁がない設計や仕様のこと。
ひ	ヒートショック	急激な温度変化により身体が大きな影響を受けること。比較的暖かいリビングからまだ冷たい浴室、脱衣室、トイレなど、温度変化の激しいところを移動すると、身体が温度変化にさらされて血圧が急変するため、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こすおそれがある。
ゆ	U I Jターン	以下の3つの人口還流現象の総称のこと。 Uターン現象: 地方から都市へ移住したあと、再び地方へ戻ること。 具体例: 新潟市から首都圏へ移住したあと、再び新潟市へ戻る。 Iターン現象: 地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること。 具体例: 首都圏から新潟市へ移住する。 Jターン現象: 地方から大規模な都市へ移住したあと、地方近くの中規模な都市へ移住すること。 具体例: 新潟市周辺の地方都市から首都圏へ移住したあと、新潟市へ移住する。
り	リフォーム	外装の塗り直しや、キッチンの変更、壁紙の張り替えなど、老朽化した建物を新築の状態に戻す工事のこと（原状回復）。

## にいがた住まい環境基本計画 –リーフレット–

発行 平成27年3月  
新潟市建築部住環境政策課  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1  
電話番号 025-226-2813（直通）  
FAX 番号 025-229-5190  
E-mail [jukankyo@city.niigata.lg.jp](mailto:jukankyo@city.niigata.lg.jp)